

平成 25 年度学校評価のまとめ

〈職員の自己評価・生徒の評価・保護者の評価〉

1 実施 平成25年4月～平成26年3月の教育活動等の自己評価

2 該当職員

教諭・講師				事務関係	総計
3年	2年	1年	小計		
19	18	21	58人	13人	71人

3 点検シートの種類(3種) ①学習指導(教科) ②生徒指導(HR・生活) ③事務関係

4 判断基準

A	B	C	D
十分満足できる	おおむね満足できる	少々努力を要する	かなり努力を要する

5 教諭・講師関係の大項目の内容と集計

①学習指導(教科)・・・学習計画, 教科連携, 授業改善, 学習態度の4項目

総合集計(4項目)

評価基準	A	B	C	D
H25年度 %	34.5	58.9	6.6	0.0
H24年度 %	36.9	56.0	7.0	0.0
H23年度 %	39.0	52.7	8.1	0.1
H22年度 %	39.3	51.8	8.9	0.0

②生徒指導(HR・生活)・・・生徒理解, 学習・進路, 集団生活, 生活指導, 家庭と連携, 分掌間連携環境整備, 表簿管理の8項目

総合集計(8項目)

評価基準	A	B	C	D
H25年度 %	30.9	58.2	10.8	0.1
H24年度 %	31.6	56.7	11.7	0.0
H23年度 %	32.7	55.7	11.4	0.2
H22年度 %	30.9	56.6	11.6	0.9

6 事務関係の大項目の内容と集計

業務処理・分掌運営, 職務能力向上, 他の職員との連携, 家庭・地域との連携, 倫理観の5項目

総合集計 (5項目)

評価基準	A	B	C	D
H25年度 %	29.5	54.3	16.2	0.0
H24年度 %	37.5	45.8	16.7	0.0
H23年度 %	29.4	53.6	16.3	0.7
H22年度 %	26.1	53.5	17.4	3.0

7 生徒学校評価アンケート集計結果

判断基準

5	4	2	1
よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない

アンケート項目と結果(数値は判断基準の平均)

項 目	1年生		2年生		3年生	
	H25	H24	H25	H24	H25	H24
建学の精神・校訓・自立のための心得を理解している	3.4	3.6	3.6	3.5	3.8	3.5
授業はだいたいわかりやすい	3.5	3.5	3.5	3.2	3.8	3.4
授業の進み方はちょうどよい	3.6	3.6	3.6	3.4	4.0	3.7
将来の進路目標をもっている	3.4	3.5	3.9	3.9	4.4	4.0
進路目標達成のため努力している	3.0	3.1	3.3	3.5	4.0	3.8
友人に対する思いやりや周囲への気配りができている	3.7	3.9	4.0	4.1	4.3	4.0
学校行事やクラスの活動に積極的に参加している	3.6	3.7	3.8	4.0	4.1	3.9
学校の美化に努めている	3.3	3.2	3.4	3.2	3.5	3.4
部活動や生徒会活動・ボランティア活動に参加している	3.2	3.5	3.5	3.7	3.4	3.3
学校から家庭への配布物は持ち帰り伝えている	3.6	3.4	3.6	3.6	4.0	3.5

※集計総数・・・879名(平成25年度)

8 保護者学校評価アンケート集計結果

判断基準

5	4	2	1
よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない

アンケート項目と結果(数値は判断基準の平均)

項目	H25	H24
入学させてよかった	4.5	4.7
学校生活の様子がよくわかり、学校の雰囲気はよい	4.3	4.2
教育活動・カリキュラムは特徴がある	4.3	4.0
施設設備などの教育環境は充実している	3.9	3.5
進路指導は充実している	4.3	4.1
部活動は充実している	4.1	4.3
生活指導は熱心である	4.3	4.4
子どもの自学自習の習慣が身についてきた	2.4	3.4
高校生活を通じて子供の進路や夢が明確なものとなった	3.4	3.8
国府高校への進学を身近な人に勧めたい	3.6	4.3

※保護者へのアンケートは用紙を生徒託送し集計したものです。

9 まとめ

1. 教職員の自己評価は、各項目肯定的で評価基準に則り、前向きな指導姿勢が窺える。このことは、生徒に誠実に対応し、生徒の資質を高めるなど、「学ぶ力の育成」を教育方針の一つとする学校としての取り組みが浸透していると考えられる。また、授業以外のホームルームや部活動、掃除の時間など様々な活動を効果的・積極的に使い、生徒の良さを引き出し、ていこうとする職員の意識が高まっているといえる。
2. 生徒のアンケート結果に表れているように、学年が進むほど学校生活に対する満足度が上がってきている。特に3年生では、10項目すべてが前年度を上回る評価になっている。これは、平成18年から始めた朝の書写教育・英単語テスト・昨年からリスニング週間、専門学校への体験学習・大学見学会・企業見学会・インターンシップなどのキャリア教育などを通して、生徒達の学習意欲や進路への意識が高まり、目的をもった学校生活ができるようになってきているからと思われる。
3. 保護者のアンケートにあるように「入学させてよかった」という思いにもっと応えられるよう、教育活動を充実しなければならない。また、日々の家庭との連携をはかり学校行事・クラス懇談・三者面談などを通して、保護者とのコミュニケーションをさらに密にし期待に応えたい。今後も、学校全体の教育力がより高まるように全職員で協力し、職員一人ひとりが研鑽を積んでいかなければならない。